

環境調査結果のお知らせ

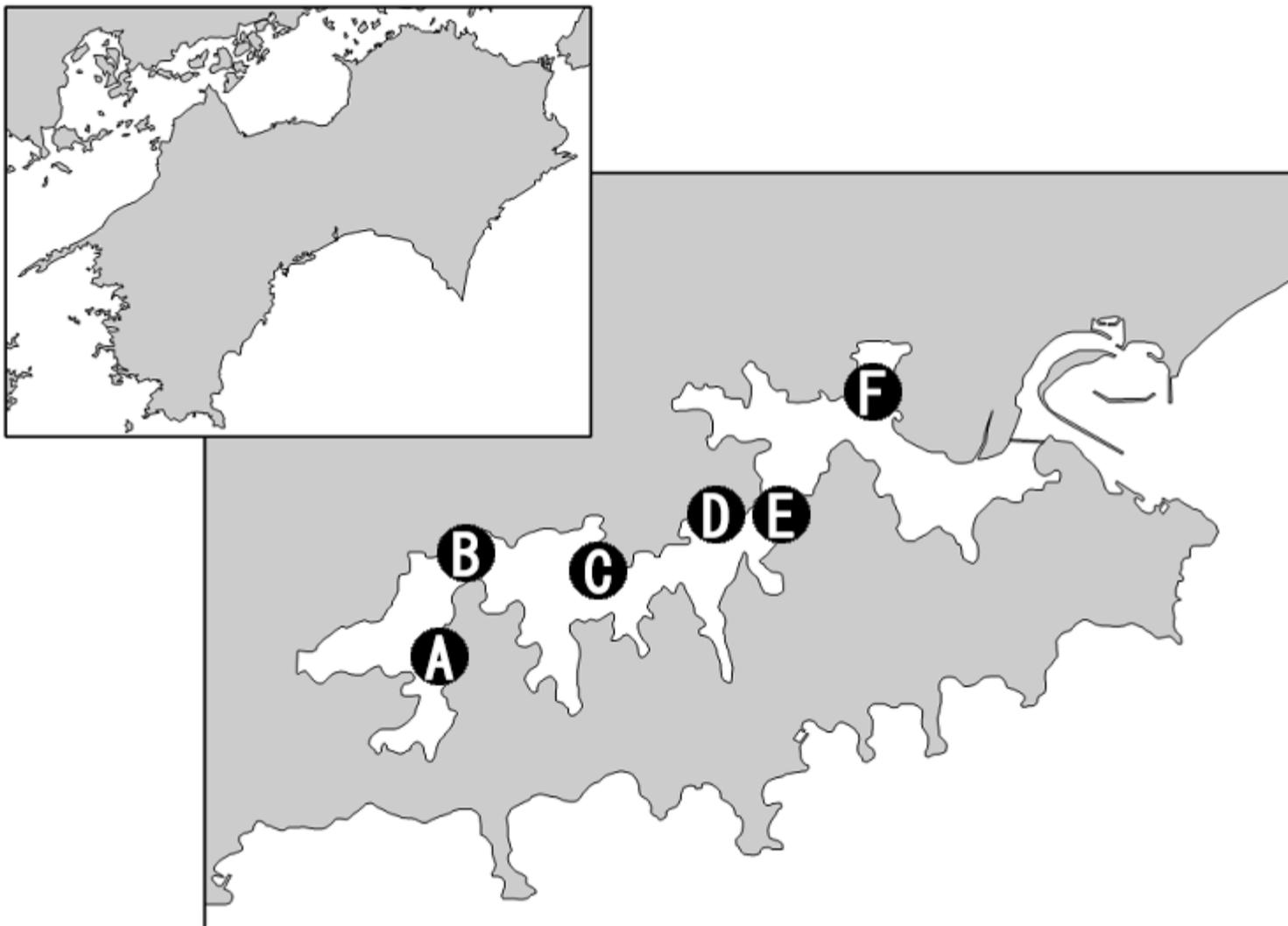
検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が湾中央部で最高1,010 cells/mL確認されました。これは漁業被害が想定される密度を超えています。また、当該プランクトンは養殖漁場でも再び増殖傾向にありますので、十分注意してください。

浦ノ内湾養殖漁場の5m層から底層が貧酸素状態となっています。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

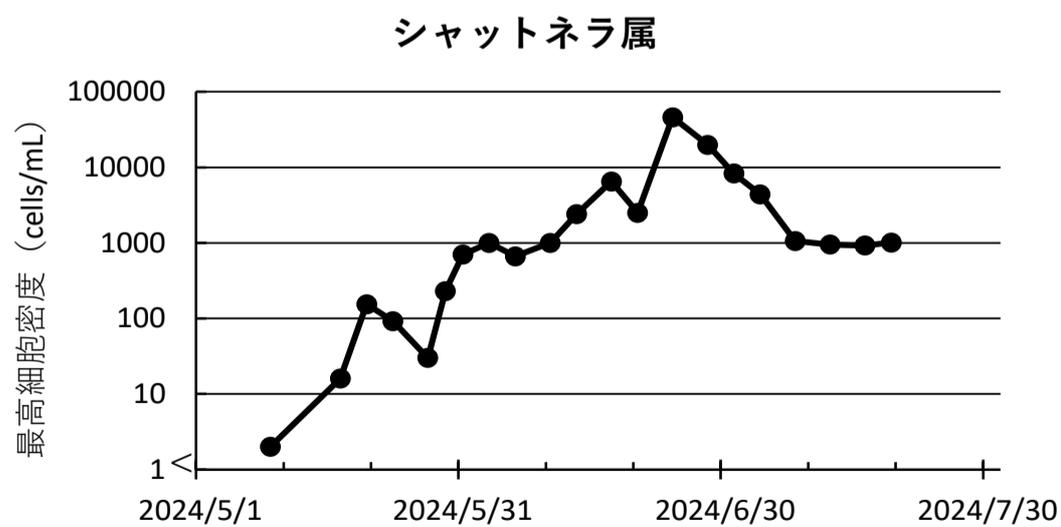
概況

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ属	珪藻
A 鳴無 (2.8) 【09:36】	0	30.8	17.5	9.9	0	-
	2	27.9	29.4	5.6	19	-
	5	25.6	29.8	0.2	466	-
	底層 7.5	24.5	29.9	0.1	22	-
B 中学校前 (2.2) 【09:41】	0	31.0	17.1	9.9	0	4,100
	2	28.5	29.4	9.8	7	1,000
	5	26.0	29.9	2.2	460	60
	10	24.1	30.1	0.0	41	40
	底層 11	24.0	30.2	0.0	15	80
C 目ノクソ (-) 【09:52】	0	31.4	17.1	9.9	1,010	20
	2	28.8	29.2	11.5	22	1,500
	5	26.3	30.0	4.2	30	500
	10	25.0	30.3	0.5	0	0
	底層 14.5	24.2	30.4	0.0	0	0
D 光松 (-) 【09:59】	0	30.2	11.8	9.6	0	7,900
	2	27.7	29.5	8.7	188	1,450
	5	26.1	30.1	3.0	16	1,550
	10	25.3	30.5	2.2	1	700
	底層 15.5	23.9	30.5	0.0	0	60
E 大鹿 (-) 【10:06】	0	30.8	18.7	9.8	0	2,800
	2	28.2	29.3	10.7	71	1,900
	5	26.0	30.2	3.1	7	1,000
	10	25.3	30.6	2.9	1	250
	底層 15.5	23.9	27.6	0.1	0	0
F 水試小割前 (-) 【10:15】	0	30.6	20.2	10.1	0	3,200
	2	27.7	29.1	9.1	0	3,000
	5	26.0	30.4	6.6	0	900
	底層 8	25.8	30.6	5.5	0	500



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella spp.</i> (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha spp.</i> (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama spp.</i> (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium spp.</i> (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。